

■ 表現研究科

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2023年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	I デッサン研究	実習	菊地達也 武井好之 工藤里紗 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:4/10~4/20 AM・PM 計16コマ(2単位)</p> <p>各自のテーマを探求するとともに、定期的に、人体クロッキー・デッサンを行い、基本の修復や自身の基準点を確認する。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
1	各自のテーマに基づいた制作、人体クロッキー・デッサン
2	〃

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カレーパステル又はコンテパステル)・水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示 	

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2023年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	Ⅱ 構成研究	実習	菊地達也 武井好之 工藤里紗 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間: 4/24~5/25 AM・PM 計32コマ(4単位)</p> <p>想起する言葉の列挙、コンセプトを明確にしてゆくため構成、文章化、ラフスケッチ等。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
3	各自のテーマに基づいた制作・ラフスケッチ
4	〃
5	〃
6	〃

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示 	

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2023年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	Ⅲ表現研究演習	演習	菊地達也 武井好之 工藤里紗 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:5/29~6/15 AM・PM 計24コマ(6単位)</p> <p>ラフスケッチからの絞り込み、練り上げ。それに伴い資料収集、必要ならば取材。エスキース制作。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
7	各自のテーマに基づいた制作、取材
8	〃
9	〃

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<p>・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・水性絵具(水彩・アクリル絵具)など</p> <p>・その他、コースごとに指示</p>	

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2023年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	IV研究制作	実習	菊地達也 武井好之 工藤里紗 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:6/19~10/12 AM・PM 計72コマ(8単位)</p> <p>可能な限り原寸大エスキースを制作。 下地づくり、画材研究。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
10	各自のテーマに基づいた制作、修了制作に向けた原寸大エスキース制作
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示 	

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2023年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	V 修了制作	実習	菊地達也 武井好之 工藤里紗 木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。			
授業の内容	期間:10/16~2/15 AM・PM 計112コマ(12単位) 制作を進めながらエスキースとのギャップを修正してゆく。 中間講評、仕上、修了制作展開催と講評。 作品の完成度、目標の達成度、至らなかったところ、今後の課題を精査。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
19	修了制作			
20	"			
21	"			
22	"			
23	"			
24	"			
25	"			
26	中間講評			
27	修了制作(中間講評を受けての修正)			
28	"			
29	"			
30	"			
31	"			
32	"			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示				
配付資料				